

政府は12月24日、物価や賃金の上昇に伴って増える年金の受給額を抑制する「マクロ経済スライド」について、2016年度は発動しない方針を決めた。

12月24日に閣議決定した2016年度予算案で、年金改定率をプラスマイナスゼロと見込んでおり、発動条件が整わないためだ。

年金の受給額は物価や賃金によって毎年変わる。マクロ経済スライドは、物価と賃金の変動を考慮して年金の受給額が増えると想定される場合、「調整率」と呼ばれる数値を差し引いて年金額を抑制する。

今回はプラスマイナスゼロになる見通しになり、発動されないことになった。

(2015/12/25 読売新聞から)